

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第1回ワークショップの開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体(施設管理者)のインフラメンテナンスに係るニーズや課題に対し、民間企業のシーズ技術のマッチング等、解決の方向性を模索・検討する場として、**ワークショップ**を実施。
- ワークショップには、施設管理者と様々な業種の企業等が参加、テーマ毎に「施設管理者の課題説明」「企業等による技術の紹介」や「課題解決策の提案」等について、活発なグループ討議が行われました。

- 日 時：平成31年1月30日（水）14:00～16:00
- 場 所：国土交通省 松江国道事務所 大会議室
- 出席者：34名（施設管理者：鳥取県、島根県、松江市、萩市、奥出雲町／民間企業等：15社）
- テーマ：「橋梁における点検方法の改善」や「舗装の損傷状況の実態把握」等の4テーマ
* 施設管理者から提供された全19テーマから参加希望者が多いものを選定

施設管理者が抱える
維持管理の課題収集



ワークショップ
(施設管理者と企業
の意見交換会)



ピッチイベント
(課題を解決する
技術の提案会)
【2/27・3/4（予定）】



実用化を検証する
現場実証試験
(自治体等フィールド)



マッチング
(社会実装)

○開会挨拶



フォーラムリーダー
(広島大学特任教授)
藤井 堅

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 藤原 博明

○グループ討議



▲テーマNo.1：橋梁における点検方法の改善



▲テーマNo.4：伸縮装置撤去時の騒音対策及び時間短縮

○グループ討議の結果発表



▲テーマNo.2：塩害橋梁の塩害進行度の把握技術

○参加者の感想

- 課題を企業に直接伝えることができ、また、企業から課題解決に向けた様々な提案があり、有意義であった(施設管理者)
- 課題解決に繋がる具体的な技術と施設管理者とのマッチングが図られる場があるとよい(施設管理者)
- 自治体の課題や他社の技術、考え方等を聴くことができ大変参考となった(民間企業)
- 施設管理者の課題を把握することで、新たなテーマの気付きにもなる(民間企業)
- 今後もワークショップを開催してほしい(民間企業)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第1回ピッチイベントの開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題（テーマ）に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**ピッチイベント（技術提案会）**を初めて実施しました。
- 第1回ピッチイベントでは「橋梁点検を支援する技術」と「塩害橋梁の塩害進行度の把握技術」の2つのテーマに対して、民間事業者9社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対し、施設管理者から積極的な質疑等、意見交換が行われました。

■日 時：平成31年2月27日（水）13:30～16:30 ■場 所：広島合同庁舎内会議室

■参加者：約90名【施設管理者：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、松江市、奥出雲町、広島市、三次市、庄原市、坂町、萩市、長門市 21名/
民間企業等：22社等（傍聴含む）】

○開会挨拶



フォーラムリーダー 藤井 堅
(広島大学特任教授)

○講 評



メンター 宮本 文穂
(山口大学名誉教授)

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 藤原 博明

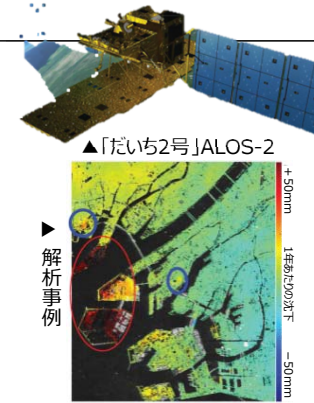
○特別講演



JAXA
(宇宙航空研究開発機構)
富井 直弥 氏

テーマ：「宇宙からのインフラ維持管理」

- 衛星から地表面の距離を観測・解析することで堤防の沈下や隆起等の変状を効率的に点検することが可能
- 国が管理する河川の点検対象堤防延長（9,155km）における点検費用は、水準測量の約3分の1程度
- 社会実装に向け、解析ツール制作やNETISの登録申請を実施中



○自社製品やサービスの紹介



▲自社製品やサービスの紹介



▲質疑応答の様子

■「橋梁点検を支援する技術」

- 新世代の橋梁点検車：格正建設(株)
- 社会インフラ画像診断サービス：富士フィルム(株)
- 衝撃振動試験等：光和商事(株)
- 橋梁点検ロボットカメラ等：(株)計測リサーチコンサルト
- 特殊高所技術：(株)Roope's

■「塩害橋梁の塩害進行度の把握技術」

- シース内グラウトの充填調査技術等：(株)CORE技術研究所
- 近赤外分光技術によるインフラ構造物の劣化イメージングシステム
：(株)日進機械
- PC鋼材の破断の判定が可能な非破壊検査手法等
：日進工業(株)
- 鋼材表面に飛来付着した塩分（NaCl）を計測する技術
：(有)丸重屋

施設管理者が抱える
維持管理の課題収集

ワークショップ

(施設管理者と企業の意見交換会)
H31.1.30 (松江)

ピッチイベント

(課題を解決する技術の提案会)
第1回：H31. 2.27 (広島)
第2回：H31. 3. 4 (米子)

実用化を検証する
現場実証試験
(自治体が管理する施設)

マッチング
(社会実装)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第2回ピッチイベントの開催概要



- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題（テーマ）に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**ピッチイベント（技術提案会）**を実施しました。
- 第2回ピッチイベントでは「舗装の損傷状況の実態把握」と「伸縮装置撤去時の騒音対策及び時間短縮」の2つのテーマに対して、民間事業者11社が自社製品やサービスの紹介を行い、紹介された技術に対し、施設管理者から積極的な質疑等、意見交換が行われました

■日 時：平成31年3月4日（月） 13:30～16:30 ■場 所：鳥取県西部総合事務所 講堂
 ■参加者：約70名【施設管理者：鳥取県、島根県、米子市、日南町、松江市、雲南市、奥出雲町 12名/ 民間企業等：15社 等（傍聴含む）】

○開会挨拶



フォーラムリーダー 藤井 堅
（広島大学特任教授）

○講 評



メンター 宮本 文穂
（山口大学名誉教授）

○開会挨拶



中国地方整備局 企画部
事業調整官 藤原 博明

○特別講演



講 師：松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 大屋 誠 氏
 テーマ：「耐候性鋼橋梁の適切な維持管理に関する技術開発」

- 耐候性鋼材とは「さびをさびで防ぐ」ユニークな防食特性を有する鋼材
- 耐候性鋼の異常腐食に関する対策を検討するにあたり、腐食状況や腐食環境等の詳細調査を実施し、定量的な評価が可能である手法等が明らかとなった
- 品質確保のためには、特に素地調整時の工程に時間を要する

○自社製品やサービスの紹介



▲自社製品やサービスの紹介



▲質疑応答の様子

■「舗装の損傷状況の実態把握」

- 「スマートフォンを活用した路面調査システム」：JIPテクノインス(株)など7社が提案



▲「道路パトロール支援サービス」
（株）富士交通・道路サービス

▲「次世代道路計測システム」
（株）バスコ

■「伸縮装置撤去時の騒音対策及び時間短縮」

- 「ウォータージェットによるはつり工法」：日進機工(株)など4社が提案



▲「延長床版システムプレキャスト工法」：（株）ガイアート

▲「SJS-H工法」：日本鉄塔工事(株)

○参加者の感想

- 課題解決のための新技術が幅広く提案してもらえることから、有意義であった（施設管理者）
- 自治体が抱えるニーズが明確になっており、解決する技術等を提案しやすい（民間企業）
- 新技術の情報と同時に、採用にあたっての課題を認識することができた（施設管理者）
- 紹介された技術を採用するための検討を進めたい（施設管理者）
- 今後、どのように技術を社会実装していくのが課題である（民間企業）
- 実証試験に繋げることができれば、より有意義なものとなる（民間企業）



▲H31.3.6建設工業新聞
（2面掲載）

